

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、北遠中央圏域） 第2回会議 議事録

開催日時	令和3年10月22日（金） 13時30分から15時まで
参加者	委員：6人 事務局：2人 関係機関：6人
場所	山香ふれあいセンター
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ 浜松市高齢者福祉課</p> <p>3. 新委員紹介</p> <p>4. 各地区の取り組み状況について報告(各地区委員より)</p> <p><b>【佐久間部会】</b>          佐久間地区部会委員より資料P1～3により課題、取り組み、今後の見通しについて説明された。          〈委員〉          ・さくマルシェや浦川野菜市では、協力してくれるお店が多く、お互いに顔を見ながら買い物ができる、商品が段々と増えていて嬉しい。との声もある。          〈SC〉          ・スクリーンにマルシェの様子などの写真を投影し、説明。          ・さくマルシェや浦川野菜市ではカートを使って買い物に来る人や、温かいものが食べられると喜ぶ方もいる。</p> <p><b>【水窪部会】</b>          水窪地区部会委員より資料P4～6により課題、取り組み、今後の見通しについて説明された。          〈委員〉          ・コロナ禍で人と話す機会が減ったこともあり、地域の中の認知症の方が増えていることを懸念している。          ・高齢者在宅支援活動についてすぐに利用したいときにできない点が課題である。          ・水窪あんしんネットワーク連絡会を2か月に1回程度定期的に行う事が良いと考える。          〈SC〉          ・スクリーンに水窪あんしんネットワーク連絡会の写真を投影し、説明。          ・認知症の人が多くなっている状況に対して、支援へ繋がるようなしくみが必要。</p> <p><b>【龍山部会】</b>          龍山地区部会委員より資料P7，8により課題、取り組み、今後の見通しについて説明された。          ・たつやマルシェに関して、「ささえ愛たつやま」委員の負担が大きいと感じる。          今後、このマルシェを継続するにあたり11月14日の開催の様子を見て、継続できるよう検討していきたい。          〈SC〉          ・スクリーンに写真を投影し説明。          ・龍山町内の商店のみならず、天竜区内の商店からもぜひ協力したい。という声もある。</p>

5. 次回の第2層協議体会議の内容について

SCより次回の開催時期、会場、イメージ、対象者等について説明。その後、具体的に  
①開催時期 ②時間 ③会場 ④対象者 ⑤名称 ⑥内容 について委員と意見  
の出し合いを行った。

〈委員〉

- ・時間：昼間の13：30～などの温かい時間に行うのが良いのではないかな。
- ・会場：畳より椅子がある方が座りやすく、足腰も楽である。
- ・名称：〇〇会議だと固く感じるため「いどばたサミット」が良いのではないかな。
- ・内容：
  - ・各地区の委員と情報交換、良かったこと、失敗したことなどを話す。
  - ・2層で話し合ったことを気軽にみんなで話し合う。
- ・方法：
  - ・椅子の配置を円にする。
  - ・集まる人は顔ぶれがいつもと同じのため、あまり関わったことのない人と話す。
  - ・小グループに分かれた場合、時間で区切り参加者が移動してグループを回る方法も良いのではないかな。

6. 情報交換・意見交換(各地区の取り組みや課題についてのアイデア、意見など)

〈委員〉

- ・マルシェや野菜市で注文が多くなりすぎて、お店側が大変という声もある。
- ・やってくれて当たり前という気持ちにならないようにすることが大切ではないかな。
- ・たつやマルシェの送迎はどこが行うのか知りたい。
- ・デイサービス、NPOの協力を頂いている。各サロン会場から会場までの送迎。

〈包括〉

- ・各サロンボランティアが参加者に送迎が必要かどうかの聞き取りを行っている。

〈委員〉

- ・相談コーナーはどこが行うのか。
- ・包括支援センターが行う。
- ・さくマルシェや野菜市で、リンゴなどの重いものを多く買う方が多い、移動に対してどこまで支援できるか考える必要がある。野菜市のおかめでは、買ったものを自宅まで配達している人もいる。
- ・ささえあいポイントが地域で知られていない。普及していきたい。
- ・野菜市などでボランティアをしている人達にポイントが付けばよいと思う。
- ・ささえあいポイントの研修が各地域で行われると嬉しい。

〈SC〉

- ・ボランティアの方々がグループとして登録すれば、ささえあいポイント事業が適用できると市から説明されている。
- ・ささえあいポイント研修会については、過去に水窪などへの出張研修も行っているの確認する。

〈委員〉

- ・コロナ禍で話す機会が減り、認知症になるのが早くなってきていると感じる。
- ・マルシェでも同じ物を何度も買おうとしている人がいたり、いつも来る人が来なかったりする方がいる。心配した民生委員が自宅まで見に行ったり、周りの人が声をかけたりして自然とお互いの関係が出来ている。

〈包括〉

- ・「まめだかいだより」のチラシを訪問先の方が見て、写真に写っている人の話からまめだかいに興味を持ってくれたので写真が載っているのは良いと思う。
- ・龍山で活用されている困った時の連絡帳が他の地域にも、佐久間にもあればよいと思う。

	<p>〈SC〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳について他の地域では、春野町でも活用している。また連絡帳の形ではないが連絡先の一覧表を作成している地区もある。</li> <li>・二俣地区で始まった「とくし丸」の紹介を行った。</li> </ul> <p>7. 閉会</p>
<p>今後の見通し等</p>	<p>第1回目の時に出されていた、より意見交換や議論が深まる協議体会議のあり方について話し合いを行なった結果、次回は第2層協議体委員と各地区部会委員合同にて行う方法で行くとの決定がなされ、高齢者福祉課の承認も得たことから、次回はより活発な話し合いが出来るよう工夫をしていく。</p> <p>龍山地区部会で取り組んでいる「困った時の連絡帳」について、他の地区部会でも検討したい等の意見があり、今後他地区での取り組みにもつなげていきたい。</p>